

令和4年度

習志野市男女共同参画週間事業講演会

無意識の思い込みを知る、気づく、変えていこう！

報告書

令和4年6月19日(日)

午前10時～正午

サンロード津田沼6階 大会議室

オンライン(Zoom)同時開催



主催：習志野市男女共同参画週間事業運営委員会・習志野市



## ■概要

テ ー マ : 「無意識の思い込みを知る、気づく、変えていこう！」

開 催 日 時 : 令和4年6月19日(日) 午前10時から正午

開 催 場 所 : サンロード津田沼 6階大会議室

主 催 : 習志野市男女共同参画週間事業運営委員会・習志野市

受 講 者 : 会場20名／オンライン27名

## ■構成

司 会 植松 礼子  
習志野市男女共同参画週間事業運営委員会 副委員長

10:00～10:10 開会挨拶

松永 照義  
習志野市男女共同参画週間事業運営委員会 委員長  
宮本 泰介  
習志野市長

10:10～11:40 講演会

「無意識の思い込みを知る、気づく、変えていこう！」

講師 平 美和 さん  
一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所 講師

11:40～11:50 質疑応答

11:50～12:00 閉会

## ■協力

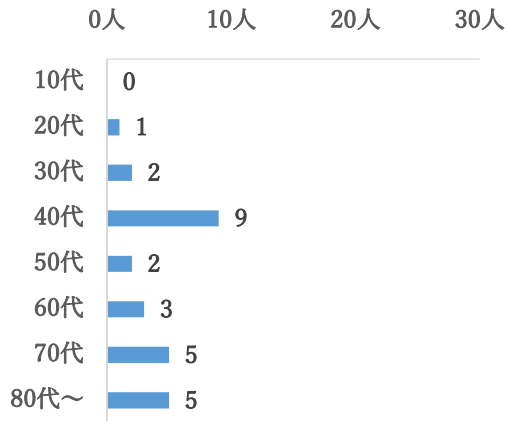
今年度のテーマは「アンコンシャスバイアス」です。アンコンシャスバイアスとは、無意識に”こうだ”と思うこと。日常にあふれていて、誰にでもあるものです。「アンコンシャスバイアスに気づこう！」と意識することで、モノの見方が変わったり、さまざまな変化が訪れます。市内の図書館には、こうした「思い込み」について学べる書籍があります。そこで中央図書館では、今回の講演会とのコラボ展示を実施しました。



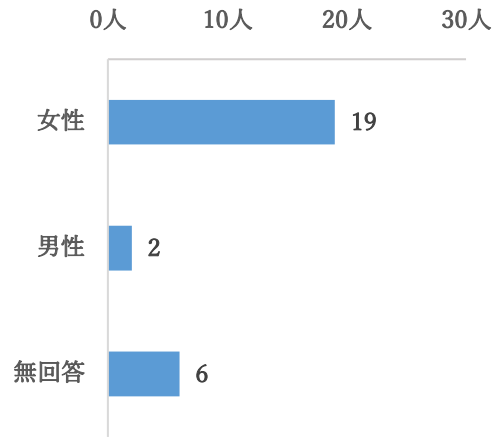
期間: 令和4年6月4日(土)～7月10日(日)

# 参加者アンケート

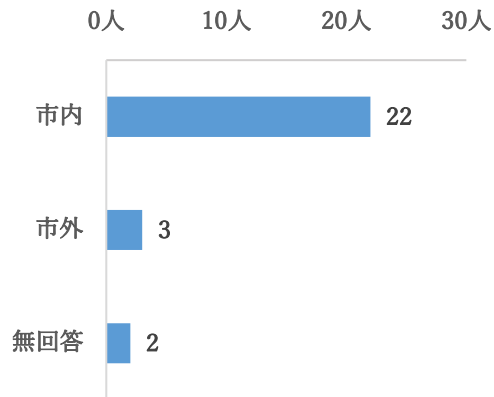
## 1. 年齢



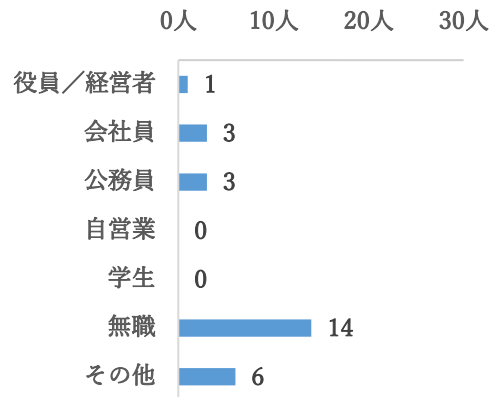
## 2. 性別



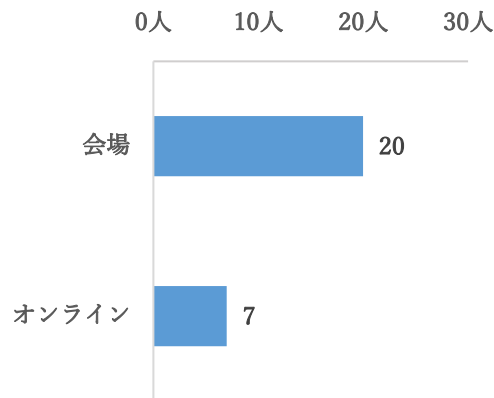
## 3. お住まい



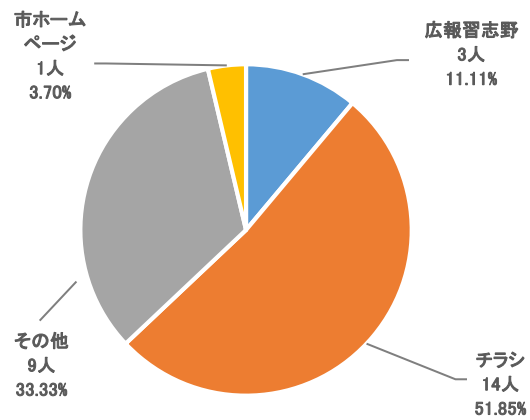
## 4. 職業



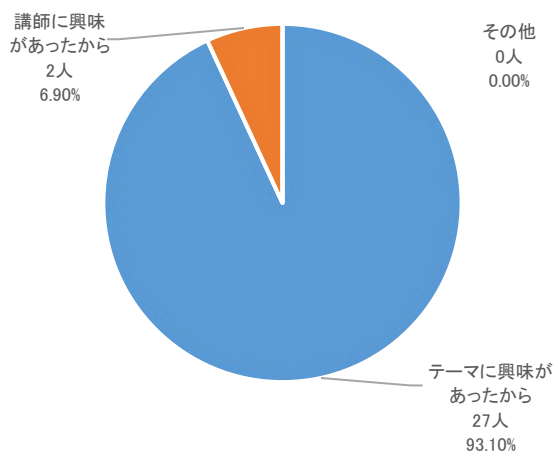
## 5. 参加方法



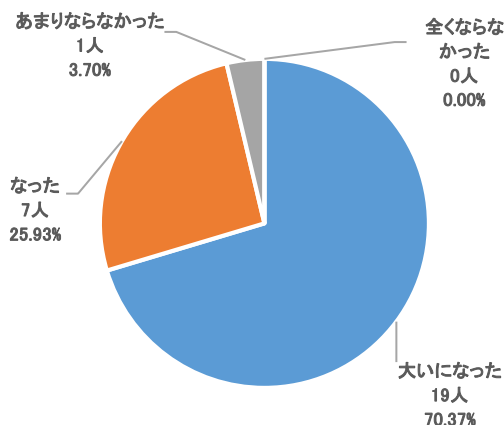
## 6. この講演会を何でお知りになりましたか



7. この講演会に参加した理由は  
何ですか(複数回答)



8. 講演会の内容は参考になりましたか



- 子供のために何か学びたいと思ったので、アンコンシャスバイアスを知り、子供にも伝えていきたいです。本日は本当にありがとうございました。仕事にも生かしていきたいです。
- 今までの生活で無意識の言動等気づかされた。
- 他者を尊重することになり、様々な可能性を広げられそう。
- わかっている部分も、新しい事も見直せた。
- アンコンシャスバイアスとは何かと以前から気になっていたので
- 日頃、自分でも気を付けないと…と思っているテーマでした。参考になることばかりでした。
- 思い込みに気づくことが第一歩なのかと思う。上書きできるようにしたい。
- 参考になりました。
- 会場で参加して、周囲の反応(質問に対する選択)や、グループワークで考えの違いを大いに感じました。相手と私、違う考えである可能性を前提にあることを学びました。
- 「決める」と「決めつける」は違うことを改めて思い至った。
- グループの話し合いもとても良かった。アンコンに興味を持ち、アンコンメモを自分を変えるためにつけようと思った。
- 講師の方の言葉に納得することが多かった。希望が持てた。参加している方と話しができてよかった。
- 「アンコンシャスバイアス」について知って、決めつけていることに気が付きました。これから、アンコンを向き合い続けていこうと思います。
- 一方的な講演でなく、能動的に参加できたこと。内容についても興味深く拝聴でき、他にも講演をお願いしたくなりました。

- コーチングをしているので、大変役に立ちました。育児にも役立つと思いました。
- アンコンシャスバイアスについて、他参加者とのディスカッションを通して、具体例をもとに理解を深めることができたから。
- まさに現在自分自身のアンコンに対して見つめ直していたため、自分自身に確認や見直しをするため
- ちょうど考え方について夫に指摘されていたタイミングでセミナーのチラシを見ました。仕事、育児、自分の体調と色々重なり、自分の考え方等見直すきっかけとなりました。図書館でメンタルヘルスや自己啓発本等読んでますが、実際に講演を聞く方が頭に入ってきました。
- 日頃の言動や行動、考え方を改めて振り返る機会となった。
- 自分では無意識に持っているバイアスが、身近な大切な人を傷つけないよう、気付くことやどう対処していけば良いのかを学ぶことができました。
- 自分の気持ちの中にある足かせに気づくことができた。オンラインで参加できたのは、気軽に参加できて本当に良かった。顔出ししなくて失礼かとは思いましたが、育児などしながら参加できるのは本当にありがたかったです。ありがとうございました。
- 作業をしながら軽く聞きたかったからオンラインで申し込みました。グループワークを求められ苦痛に感じ退出しました。オンライン参加者は話し合いに参加するか、しないか、選ばせていただけるとありがたかったです。

---

## 反省点・改善点等(抜粋)

---

### 【企画・周知について】

- テーマに合わせて公民館、商工会議所、大学などタイアップ先を検討してみてはどうか。
- より広く周知するために、公民館と連携することについて検討してみてはどうか。例えば、会場を公民館とすることで、より集客につながると考える。
- (撮影係として)事前に撮影可能な場所について、調整しておく必要がある。
- 周知期間は長くとる必要がある。
- 中央図書館とのコラボレーションについても、もっと周知を行う必要がある。
- 事務局だけではなく、運営委員として、担当者を決めてPRしていくのはどうか。

### 【当日の運営について】

- 講演会に伴う諸注意など、参加者への周知が不足していた。開始前のアナウンスなどで、周知を徹底する必要がある。
- アンケート結果では、グループワークを実施することについて、「よかった」と回答する人もいれば、「参加の可否を選択したかった」と回答する人もおり、様々な考え方があることがわかった。グループワークの方法について、検討する必要がある。

## 「男女共同参画週間」とは

国は、男女が互いにその人権を尊重しつつ、喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会を実現するため、平成 11 年 6 月 23 日に「男女共同参画社会基本法」の公布・施行しました。

それを踏まえ、毎年 6 月 23 日から 29 日までの 1 週間を「男女共同参画週間」として、さまざまな取組を通じ、男女共同参画社会基本法の目的や基本理念について理解を深めることを目指しています。

## 令和4年度男女共同参画週間ポスター



### ＜令和 4 年度 習志野市男女共同参画週間事業 運営委員＞

- 【委員長】 松永 照義（ちば菜の花会 習志野支部）
- 【副委員長】 植松 礼子（NPO法人 ウィメンズ・ウィングちば）
- 【運営委員】 浅井 悦子（習志野市消費生活研究会）
- 今井 純子（童謡フェスティバル in ならしの）
- 榎本 和子（習志野市芸術文化協会）
- 木村 暉子（脳いきいき夢アート）
- 国分 博子（習志野まちづくり研究会）
- 齊藤 真理（習志野まちづくり研究会）
- 佐藤 佐知子（クローバーならしの）
- 下山田 実生（自助グループ MayaMoon）
- 田島 裕子（新日本婦人の会）
- 立本 典子（習志野市消費生活研究会）
- 出口 悟（習志野市商店会連合会サポート倶楽部）
- 手島 恵子（セカンド）
- 中村 克子（童謡フェスティバル in ならしの／脳いきいき夢アート）
- 前田 陽子
- 幣司 義子（童謡フェスティバル in ならしの／脳いきいき夢アート）
- 【事務局】 習志野市男女共同参画センター（ステップならしの）